

平成28年度

Sさん

進学先:防衛大学校 理工学専攻

主な合格校:富山県立大学 工学部 機械システム工学科

私の受験生としての生活は、正直よくなかったです。部活引退後、勉強をしなければ、という意識だけがありました。夏休み、勉強時間にとらわれ、勉強の質は最悪でした。なぜか寝てはいけないと思っていたので、睡眠時間が短くなり、次の日集中力のないままボーっと机に向かうという毎日を繰り返しました。その状態で9月の推薦入試を受け、落ちました。そのあとも勉強をしなかったので11月の一般も落ちました。そして、冬休みに反省しやっとな真面目に勉強し始めました。

塾などは通っていませんでしたので課外授業に積極的に参加しました。英語が苦手な何をしていたのかわからなかったため、冬休みのセンター対策課外を受けました。そのおかげでセンターの英語は点数が上がり、勉強の仕方もわかりその後の勉強にも弾みがつきました。数学は得意だったので、勉強は授業と課外だけにして、家では他の教科に集中しました。

勉強の仕方がわからない人は課外授業に出てみてはどうでしょうか。そして一番前の席に座ると「自分はやる気のある人間だ。」という暗示がかかるのと同時に、全力で集中できるかもしれません。

また、もう一つ意識したのは早寝早起きです。冬休み以降は以前の失敗から学び、6時に起き、23時までに寝ることを心がけました。効率よく集中して勉強できました。

勉強の仕方は人それぞれですが、勉強し始めるのは早いにこしたことはありません。できるだけ早くから自分に合った勉強の仕方を探して受験生ライフを充実したものにしてほしいです。そして合格発表までは「落ちる」と冗談でも言わないほうがいいです。落ちるので、「言霊とはこのことか」と初めて感じました。

私は後期でやっとな第一志望に合格できました。推薦や前期で失敗しても、チャンスがある限りはあきらめないで受験してほしいです。後悔しないように頑張ってください。

Sさん

進学先:三重大学 人文学部 法律経済学科

私は決して頭が良いわけではありません。しかし、なぜ国立大学に合格することができたのかは3つの理由があります。

1つ目は、将来の夢があったことだと思います。明確な目標があれば必然的にどの大学に行くべきなのか早く決めることができるはずです。

2つ目は、授業・家庭学習を大切にすることです。私は評定が受験に必要なだったので定期テストや小テストを真面目に取り組みました。高得点を得るには日ごろの授業にしっかりと取り組み、家で復習をすることです。自分には必要がない教科と言って疎かにしてはいけません。

最後に、先生・両親の支えです。特に推薦入試で合格できたのは、先生方が練習、添削をしてくださったおかげです。自分には難しいと思いついて諦めてしまうのはもったいないことです。出来ることはすべて行い悔いのない受験にしてください。

Tさん

進学先:防衛大学校 理工学専攻

私は思います。勉強なんて“やる気”があればなんとかなると。

私は高校一年生に入ってから勉強を始めました。

中学までこれといって勉強をしなかったため、勉強とはどのようにするのかわかりませんでした。したがって、私は他の人にやり方を聞いたり、勉強の仕方という本を買って読んだりして身に付けていきました。

最初の内はとにかく思いついたことを思いついたように勉強していましたが、2年生の夏から塾に通い始めてみました。このころの夏休み期間は、朝の8:30から夜の10:00まで勉強していました。学校があるときは平均6時間くらいの学習をこなしていました。

3年生になってからは、もっと勉強時間を増やし平日平均8時間、休日は15時間くらい勉強していました。しかし、学習時間は増えているにもかかわらず、なぜか、成績はどんどん下がる一方でした。あせって、いろいろな参考書や問題集を多くこなしてきましたがダメでした。センター試験もうまくいかず、かなり落ち込みました。

最終的に学校で購入した問題集を使いました。勉強時間を調整し、睡眠時間も確保し、学習に対する集中力を高めるようにしました。そして、ようやく成績が上がり始め、結果、防衛大学校に後期で合格することができました。

結局、勉強時間はだいたい平日6時間、休日10時間以上12時間以内がベスト。問題集や参考書は学校のもので十分で塾もなにも必要ない。

“やる気”があれば自然と自ら考え行動すると思います。

大切なのは“自ら考え行動する”と“やる気”。これが私の結論です。

Nさん

進学先:大阪府立大学 生命環境科学域 緑地環境科学類

主な合格校:立命館大学 理工学部 環境システム工学科
関西大学 環境都市工学科 都市システム工学科

僕は授業で内容をしっかりと理解し、分からない所がないようにしていました。塾には行っておらず、クラスの学習時間の記録で最下位になったことがある程、学習時間は少なかったですが、宿題・予習・復習は集中してやっていました。

しかし、時々スランプに陥ることもありました。目標を高く設定しすぎた故に、計画に追いつかず、焦りやいらだちを覚えることもありました。

高3になっても似たようなことがあり、そんな時にもう一度志望校について考え直した時に、自分が本当に行きたいと思える大学を見つけ、志望校を変更しました。

そして、高3の11月頃からは国公立大学の公募制推薦を念頭に置き、集中してセンター対策をしました。今まで受けた模試、実戦問題集やセンターパックなど多くをこなし社会を倫政から現社に変更したこともあって、次第に点が取れるようになりました。そして、センター本番では過去最高の得点率79%、国語を除くと85%という結果を残すことができ、無事、推薦入試で合格しました。

今振り返ってみると、上記以外にも勉強面では、自分のレベルに合った問題集を選んだこと、朝礼前の時間にとにかく問題を解き続けたこと、理科に関して先取り学習を行ったことなど、生活面では睡眠を多く取ったこと、やる気が起きなかった時に勉強と違う事(部屋の片付け等)をしたことなど、今までの努力の結果で合格できたのだと思います。

最後になりますが、皆さんも自分が「大学で何を学びたいのか」これをよく考えて下さい。目標を決めることで勉強する動力源になり、それに向かって努力できます。親や先生のアドバイスも参考にしながら、最後に決めるのは自分自身です。頑張ってください。